

# 宮崎市学校給食センター個別施設計画



令和3年2月

(令和6年11月一部改訂)

宮崎市 教育委員会

保健給食課

# 宮崎市学校給食センター個別施設計画

## 目次

### 第1章 計画策定の背景と目的

1. 計画策定の背景	.....	1
2. 計画策定の目的	.....	1
3. 計画の位置付け	.....	1
4. 計画の期間	.....	1

### 第2章 学校給食センターの概要

1. 学校給食センターの現状	.....	2
2. 学校給食センターの役割	.....	3
3. 学校給食センターの運用状況	.....	3

### 第3章 個別施設の状態等

1. 対策の優先順位の考え方	.....	4
2. 個別施設の状態	.....	5
3. 各学校給食センターの状態写真	.....	6

### 第4章 対策の内容等

1. 対策の考え方	.....	11
2. 対策の内容等	.....	11

# 第1章 計画策定の背景と目的

## 1. 計画策定の背景

全国の自治体では、高度経済成長期以降、学校や公営住宅などの「ハコモノ」や、道路や橋梁などの「インフラ」を数多く整備してきましたが、これらの公共施設の老朽化が進むとともに、維持管理や更新に要する多額の財政的負担が、全国的に大きな課題となってきました。

このような状況の中、国は平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、平成26年4月には、全国の自治体に対して「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しました。

本市では、これを受け、公共施設全体の課題を明示し、戦略的に課題解決に取り組むため、「宮崎市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という）を策定しました。

総合管理計画では、持続可能かつ最適な公共施設経営の実現を目指し、「総量の最適化」「質の向上」「投資の厳選」の3つの経営方針を掲げています。また、今後は、この計画に基づき、個別施設ごとの具体の対応方針を定める計画として、「個別施設計画」を策定することとなっております。

これらを踏まえ、現在、本市が設置している学校給食センターは築25年以上を経過しており、老朽化が進みつつあることから、今後の整備及び長寿命化に関する方針を定めるため、「宮崎市学校給食センター個別施設計画」を策定するものです。

## 2. 計画策定の目的

「宮崎市学校給食センター個別施設計画」（以下、「本計画」という）は、維持管理・更新等の取組状況を踏まえつつ、長期的な視点を持って、長寿命化・建替え等を計画的に行い、持続可能な行政運営の実現を図ることを目的に策定します。

## 3. 計画の位置付け

本計画は、「総合管理計画」（上位計画）の「個別施設計画」（下位計画）とします。

## 4. 計画の期間

本計画の計画期間は「総合管理計画」の計画期間に合わせて、令和3年度から令和9年度までの7年間とします。ただし、社会情勢の変化や関連する計画の策定・改訂など、本計画に大きな影響を与える事情が発生した場合は必要に応じて見直しを行います。

## 第2章 学校給食センターの概要

本計画の対象とする学校給食センターは、下表1に示す5施設です。

表1 対象施設

項目	学校給食センター名称および概要					
名称	宮崎市中央 学校給食センター	宮崎市佐土原 学校給食センター	宮崎市田野 学校給食センター	宮崎市高岡 学校給食センター	宮崎市清武 学校給食センター	
所在地	村角町島ノ前 1346番地1	佐土原町東上那珂 13915番地3	田野町甲 1721番地	高岡町内山 2846番地2	清武町今泉甲 5662番地	
調理開始	平成7年4月10日	平成2年4月6日	平成6年4月6日	昭和59年4月6日	平成7年9月2日	
敷地面積	3,198.12㎡	8,247㎡	2,362.11㎡	1,305.67㎡	11,267㎡	
建物面積	1,806.13㎡	1,415.89㎡	781.52㎡	564㎡	1,952㎡	
構造	鉄骨造2階建	鉄骨造2階建	鉄骨造2階建	鉄骨造平屋建	鉄骨造2階建	
調理能力	6,000食/日	6,000食/日	2,300食/日	2,000食/日	5,000食/日	
配送校	小学校 0校 中学校 8校	小学校 5校 中学校 3校	小学校 2校 中学校 1校	小学校 2校 中学校 1校	小学校 3校 中学校 2校	
総事業費	794,419千円	486,254千円	403,704千円	135,299千円	730,000千円	
財源内訳	国庫補助	169,373千円	82,669千円	47,940千円	39,870千円	95,839千円
	起債	—	61,900千円	126,400千円	—	180,000千円
	一般財源	625,046千円	341,685千円	229,364千円	95,429千円	454,161千円

### 1. 学校給食センターの現状

学校給食は、学校における教育活動の一環として、児童生徒の心身の発達に大きく関わるとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものです。

宮崎市の学校給食は、すべての小中学校において完全給食が実施されており、その実施方法は各学校にある給食室で調理する「単独調理場方式」と、学校給食センターで調理して各学校へ配送する「共同調理場方式」の2つに分かれています。

宮崎市には「中央学校給食センター」「佐土原学校給食センター」「田野学校給食センター」「高岡学校給食センター」「清武学校給食センター」の5つの学校給食センターがありますが、いずれも建築後25年以上が経過し、老朽化が急速に進行するとともに、毎年、多額の修繕費が必要となっています。

このような状況の中、施設の機能を確実に維持していくためには、点検等により劣化損傷を把握し、適切な時期に改修する整備計画を作成するなど、施設の長寿命化対策を図っていく必

要があります。

## 2. 学校給食センターの役割

学校給食センターは、複数の学校の給食を調理し、配送車を使って、できあがった給食と食器を学校に配送し、児童生徒が食べ終わった食器を回収、洗浄する「共同調理場」です。

学校給食法では、「二以上の義務教育諸学校の学校給食の実施に必要な施設」として「共同調理場」を規定しています。

本市の第五次宮崎市総合計画では、重点項目の一つである「地域に愛着や誇りを持つ『みやぎっ子の育成』」の主要施策として「健やかな心身の育成」を掲げており、その対象となる児童生徒がたくましく生きる健やかな体を育む上で、学校給食は重要な役割を担っています。

また、市教育委員会が定めた「第二次宮崎市教育ビジョン」においても、基本目標の一つである「地域・家庭・学校が連携した教育の充実」の主な施策として「食育の推進」を掲げており、学校給食の献立に行事食や郷土料理などを取り入れたり地場産物を活用したりしながら、地域や家庭と連携して食育の推進や健全な食生活の実践を図ることは、児童生徒の郷土への愛着や生産者への感謝の気持ちを育むことにつながっています。

## 3. 学校給食センターの運用状況

令和2年度の各学校給食センターの運用状況は下表2のとおりです。

表2 学校給食センターの運用状況

調 理 区 分		学校数	児童生徒数	実施予定回数
小学校	佐土原学校給食センター	5校	2,145人	206回
	田野学校給食センター	2校	701人	200回
	高岡学校給食センター	2校	570人	198回
	清武学校給食センター	3校	1,798人	205回
	計	12校	5,214人	—
中学校	中央学校給食センター	8校	3,609人	199回
	佐土原学校給食センター	3校	967人	196回
	田野学校給食センター	1校	274人	199回
	高岡学校給食センター	1校	220人	200回
	清武学校給食センター	2校	767人	204回
	計	15校	5,837人	—
合 計		27校	11,051人	—

## 第3章 個別施設の状態等

### 1. 対策の優先順位の考え方

すべての学校給食センターは、鉄骨造の建物であることから「目標耐用年数80年（日本建築学会）」を目標とし、計画的な修繕により施設の長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を図ります。

当該施設は、これまでは、不具合があった場合に保全（修繕）を行う「事後保全」で対応してきました。

しかし、今後、長期的視点に立って、財政的負担を縮減しながら施設の長寿命化や衛生管理の徹底を図っていくために、これまでの「事後保全」ではなく、定期的な点検を通して施設状態を把握し、計画的に修繕等を行う「予防保全」に転換していくこととし、調理・衛生管理を適切に実施するために必要な施設機能の確保を優先的に実施します。

#### 【長寿命化方針】 目標耐用年数 80年

改修時期として、築年数40年・60年経過を目処に現地施設状態を確認の上、大規模改造（現状回復等）や長寿命化改修（機能向上）を検討します。

## 2. 個別施設の状態

各学校給食センターの施設や設備の状態は、下表3のとおりです。

表3 各学校給食センターの状態

No	名称及び建築年	区分	状態
1	中央学校給食センター (平成7年)	屋根・屋上	・部分的な修繕を行っており、全体改修時期となっている。
		外壁	・一部塗料の剥れや汚れが見られる。 ・シーリング材が劣化している。
		内部仕上 (床・壁・天井・建具等)	・調理室等の床は損耗が早く、都度修繕を行っている。 ・廊下や事務室等は概ね良好であるが、一部内壁の傷みが見られる。
		電気設備	・調理室等の照明器具が老朽化しており、更新時期となっている。 ・調理室等の空調はH24整備済み。ただし、一部未整備区域がある。 ・受電設備が老朽化している。
		機械設備	・排水処理施設は、建築から21年以上経過しておりプロアーなどの設備更新時期となっている。
		その他	・地下ピット内蒸気管が老朽化しており、改修が必要。
2	佐土原学校給食センター (平成2年)	屋根・屋上	・部分的な修繕を行っており、全体改修時期となっている。 ・降雨時に軒樋から雨水溢れが発生しており、堅樋の改修(又は増設)が必要となっている。
		外壁	・一部塗料の剥れや汚れが見られる。 ・シーリング材が劣化している。
		内部仕上 (床・壁・天井・建具等)	・調理室等の床は損耗が早く、都度修繕を行っている。 ・廊下や事務室等は概ね良好であるが、一部内壁や天井の傷みが見られる。
		電気設備	・調理室等の照明器具は令和2年度にLED化が完了。 ・調理室等の空調はH17、H20に整備済み。 ・受電設備が老朽化している。
		機械設備	・排水処理施設が設置から30年経過し、回転円板の更新時期となっている。
		その他	・敷地内の一部に不同沈下が見られ、水路の破損がある。 ・敷地内駐車場のアスファルトに傷み、くぼみがあり排水不良箇所がある。 ・施設周辺の未舗装地や法面に雑草や雑木が生い茂り、不衛生な状態となっている。
3	田野学校給食センター (平成6年)	屋根・屋上	・部分的な修繕を行っており、全体改修時期となっている。
		外壁	・一部塗料の剥れや汚れが見られる。 ・シーリング材が劣化している。
		内部仕上 (床・壁・天井・建具等)	・調理室等の床は損耗が早く、都度修繕を行っている。 ・廊下や事務室等は概ね良好である。
		電気設備	・調理室等の照明器具が老朽化しており、更新時期となっている。 ・調理室等の空調はH17に整備済み。 ・受電設備が老朽化している。
		機械設備	・概ね良好である。
		その他	・敷地内駐車場のアスファルトに傷み、くぼみがあり排水不良箇所がある。
4	高岡学校給食センター (昭和59年)	屋根・屋上	・部分的な修繕を行っており、全体改修時期となっている。
		外壁	・塗料の剥れや汚れ、クラックが多数あり全体改修時期となっている。
		内部仕上 (床・壁・天井・建具等)	・調理室等の床は損耗が早く、都度修繕を行っている。 ・廊下や事務室等は概ね良好であるが、一部内壁の傷みが見られる。
		電気設備	・調理室等の照明器具が老朽化しており、更新時期となっている。 ・調理室等の空調はH17に整備済み。 ・受電設備が老朽化している。
		機械設備	・概ね良好である。
		その他	・概ね良好である。
5	清武学校給食センター (平成7年)	屋根・屋上	・R2に大規模改造済み。
		外壁	・R2に屋根工事と併せてシーリング材補修及び痛みが激しい箇所について修繕済み。
		内部仕上 (床・壁・天井・建具等)	・調理室及び洗浄室の床は損耗が早く、都度修繕を行っている。 ・廊下や事務室等は概ね良好であるが、一部内壁の傷みが見られる。
		電気設備	・調理室等の照明器具が老朽化しており、更新時期となっている。 ・調理室等の空調はH21に整備済み。ただし、洗浄室は未整備。 ・受電設備は大久保小学校と共有している。
		機械設備	・給排気システムに故障が頻発しており、更新時期となっている。
		その他	・地下ピット内蒸気管が老朽化しており、改修が必要。

※ 「調理室等」とは、調理室・洗浄室・下処理室・検収室など調理業務を行う区画。(事務室、休憩室、会議室等の非作業区域を除く)

### 3. 各学校給食センターの状態写真

各学校給食センターの主な施設や設備の状態は、以下の写真のとおりです。

#### ①中央学校給食センター



施設外観



調理室



破風板の塗装剥れ



外壁の塗装剥れ



内部仕上の破損



排水処理施設の老朽化



②佐土原学校給食センター



施設外観



調理室



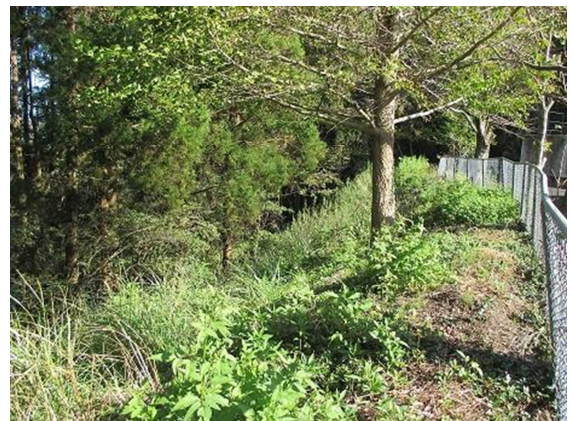
過去の漏水による天井汚れ



調理室床の塗装剥れ



排水処理施設（回転円板）の老朽化



敷地西側法面

③ 田野学校給食センター



施設外観



調理室



屋根のサビ



外壁コーキング材の劣化



外部建具（シャッター）のサビ



敷地内駐車場の水捌け不足

④高岡学校給食センター



施設外観



調理室



外壁のひび割れ



外壁材の割れ



鉄骨のサビ



調理室床の塗装剥れ

⑤清武学校給食センター



施設外観



調理室



洗浄室照明の不具合



給排気設備の老朽化



内部仕上材の剥れ



排水処理施設の老朽化

## 第4章 対策の内容等

### 1. 対策の考え方

学校給食センターは、築25年以上が経過し、躯体部分に影響はありませんが、屋根、外壁、照明、機械設備等に老朽化が見られます。

計画期間内においては、建物外部・内部及び当該施設設備に関する予防保全改修を実施するものとし、実施の際は年度間の工事費用の平準化を図ります。

なお、今後の施設方針については、適宜、施設評価によって判断していくこととします。

### 2. 対策の内容等

上記の考え方を踏まえ、計画期間内の施設の改修については、下表4に示す時期に実施することを予定していますが、施設の状態により、計画の見直しを行います。

表4 施設改修の実施時期（予定）

令和6年11月一部改訂

（単位：千円）

施設名	建築年	構造	延床面積 (㎡)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
中央学校 給食センター	H7	鉄骨	1,806		大規模改修(屋根・外壁・照明) 48,981			大規模改修(圧力容器) 10,000		
						大規模改修(排水施設更新) 51,540			大規模改修(床版並空調) 30,000	
佐土原学校 給食センター	H2	鉄骨	1,415	大規模改修(排水施設更新) 30,634			大規模改修(自動ドア) 939	大規模改修(受電設備) 20,000		
						大規模改修(屋根・外壁) ※1 39,737				
田野学校 給食センター	H6	鉄骨	781			大規模改修(照明) 3,642	大規模改修(床改修) 9,526	大規模改修(受電設備) 21,727		
									大規模改修(空調) 50,628	
高岡学校 給食センター	S59	鉄骨	564	大規模改修(屋根外壁・照明) 37,477				大規模改修(空調更新) 27,567		
									大規模改修(受電設備) 26,500	
清武学校 給食センター	H7	鉄骨	1,952		大規模改修(照明) 8,615		大規模改修(給水装置) 9,812		大規模改修(空調) ※3 42,243	
						大規模改修(受電設備設置) 48,156			大規模改修(地下配管) 14,244	
大規模改修事業費計				531,968 (年平均75,995)						
その他維持管理修繕(5センター分)				20,598	17,877	15,839	19,200	20,000	20,000	20,000
計画期間合計				665,482						

○金額は概算値であり、実際の予算や事業費等とは異なります。

○「照明」とは、調理室・洗浄室・下処理室・検収室など調理業務を行う区画の照明器具改修（LED化）工事です。

※1 佐土原学校給食センター調理場内照明器具改修工事は令和2年度に実施済

※2 清武学校給食センターの屋根・外壁改修工事は、令和2年度に実施済

※3 清武学校給食センターの空調工事は、洗浄室（新設）、事務室（更新）